

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語	平成20年度	浜口 仁	5	通年	学修単位 2	必

[授業のねらい]

英文の内容を正しく理解するためには、英文の構造を正しく把握していなければならない。そのためには語彙とともに文法の知識が必要である。

この授業の主な目標は英文法の知識を身につけることである。文・名詞に始まり時制・助動詞・態・仮定法などの文法項目に関する基礎的な知識を確実に定着させたい。この授業での英文法の基礎的知識を、今後(また卒業後の英語の再学習時)の Reading の能力、自分を英語で表現する Oral Communication, そして英作文(Written Communication)などの英語運用能力を高めることに結びつけていきたい。

[授業の内容] すべての内容は、学習・教育目標(C)<英語>と JABEE 基準 1(1)f に対応する。

テキスト *The Fundamentals of College English Grammar*
使用(朝日出版社)

【前期】

- 第1週 Introduction (ガイダンス：効果的な学習の進め方)
- 第2週 文(1) 句と節, 等位節・従節など
- 第3週 文(2) 文の種類,完全文,小文
- 第4週 名詞(1) 名詞の種類 可算名詞,不可算名詞など
- 第5週 名詞(2) 名詞の数
- 第6週 名詞(3) 名詞の格
- 第7週 冠詞(1) 不定冠詞の用法, 定冠詞の用法
- 第8週 冠詞(2) 固有名詞と定冠詞, 冠詞の位置, 冠詞の反復など
- 第9週 前半のまとめテスト(中間試験)
- 第10週 代名詞(1) 代名詞の種類, 人称代名詞, It の特殊用法など
- 第11週 代名詞(2) 指示代名詞, 不定代名詞,
- 第12週 代名詞(3) 不定代名詞の続き, 疑問代名詞
- 第13週 関係代名詞
- 第14週 形容詞(1) 形容詞の種類と用法,形容詞の名詞的用法
- 第15週 形容詞(2) 形容詞の位置, 比較
- 第16週 時制(1) 現在時制の用法, 過去時制の用法,未来時制の用法

【後期】

- 第1週 完了形の用法,進行形の用法,完了進行形の用法
- 第2週 態受動の用法,態受動が好まれる場合,動作受動態と能動受動態 など
- 第3週 助動詞(1) do, can, may などの用法
- 第4週 助動詞(2) must, ought to, used to, should would などの用法
- 第5週 仮定法(1) 仮定法現在,仮定法過去
- 第6週 仮定法(2) 仮定法過去完了, 仮定法未来
- 第7週 不定詞(1) to-不定詞の用法,原形不定詞の用法
- 第8週 不定詞(2) 不定詞の意味上の主語,不定詞を含む慣用表現
- 第9週 前半のまとめテスト(中間試験)
- 第10週 動名詞(1) 動名詞の性質, 動名詞の時制, 動名詞の意味上の主語など
- 第11週 動名詞(2) 目的語としての動名詞と不定詞,動名詞を含む慣用表現など
- 第12週 分詞 分詞の用法, 分詞構文, 独立分詞構文など
- 第13週 時制の照応と話法(1) 時制の照応
- 第14週 時制の照応と話法(2) 話法
- 第15週 副詞(1) 副詞の機能,副詞の種類,関係副詞の用法など
- 第16週 副詞の位置, 注意すべき副詞の用法など

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語（つづき）	平成20年度	浜口 仁	5	通年	学修単位2	必

<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業で取り上げた各文法・語法項目が理解できる。 2. 学習した文法・語法項目に基づいて short passage(短文)の内容が正確に理解できる。 3. 学習した文法・語法項目を用いて、基本的な英文を作ることができる(英作文能力)。 4. 授業で学んだ文法・語法の知識を基礎として今後の英語の運用能力を高めることに結びつけることができる(英語発信能力)。 	
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>各文法・語法項目を理解することによって英文の構造が把握でき、正確に short passage の内容が理解できる。またこれを用いて英文をつくることができる。さらに、今後の Reading の能力の向上や、Written Communication などの英語発信能力に結びつけることができる。</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>上記の「知識・能力」1～4の習得の度合を中間試験、期末試験により評価する。試験問題レベルは、100点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。</p> <p>前回の授業で習ったことがどれだけ定着しているかまた、復習の程度をみるために小テストを毎授業に実施する。小テストの得点はその得点に応じて、中間試験、期末試験の得点に加点またはそれから減点する場合がある。</p> <p>必要に応じて課題またはレポートを課すことがある。</p>
<p>[注意事項] 英語の学習は毎日こつこつ行うことが重要である。授業はもちろん、日頃から自主的に意欲的に予習・復習に励むこと。毎授業の小テストによって定着度をテストするが、これだけに満足せず日々自ら積極的に英語の学習に取り組んでほしい。</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 前年度までの英語～英語で学習した語彙・文法・語法知識を前提とする。</p>	
<p>[自己学習] 授業で保証する学習時間と、予習・復習(中間試験、定期試験、小テストのための学習も含む)に必要な標準的な学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。</p>	
<p>[教科書] <i>The Fundamentals of College English Grammar</i>(朝日出版社)</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>原則、中間・期末の各2回、計4回の試験の平均点を最終評価とする。ただし、各試験において60点に達しなかった者には再試験、またはレポートなどを課す場合がある。この場合再試験において60点を上回った場合には、60点を上限として本試験の成績を再試験の成績で置き換えるものとする。</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>学業成績で60点以上を取得すること。</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
実用英語	平成20年度	Mike Lawson	5	前期	学修単位1	選

[授業のねらい]

The objective of this course is to help students acquire the ability to understand lectures given in English. This will be achieved by providing students with an introduction to the basic concepts of sociology using English.

[授業の内容]

The following content conforms to the learning and educational goals:

(A) <Perspective> [JABEE Standard 1(1)(a)], and (C) <English>

[JABEE Standard 1(1)f].

First Semester

Week

- 1 Introduction to the course
- 2 The Sociological Perspective
- 3 Culture
- 4 Culture
- 5 Socialization
- 6 Socialization

- 7 REVIEW
- 8 MIDTERM EXAM
- 9 Social Deviance and Social Control
- 10 Social Deviance and Social Control
- 11 Social Class and Social Stratification
- 12 Social Class and Social Stratification
- 13 Race and Ethnicity
- 14 Gender
- 15 Gender
- 16 Students' topic of interest

[この授業で習得する「知識・能力」]

1. Students will acquire the ability to understand lectures given in English while learning basic sociological concepts.

2. The concepts covered will include social interaction, social groups, age and sex, families and religion, education and work, and social change.

[この授業の達成目標]

The objective of this course is to provide students with the ability to understand lectures given in English.

[達成目標の評価方法と基準]

Students' ability to understand lectures given in English will be evaluated through the use of two exams (one midterm exam and one final exam) concerning basic sociological concepts. Students will have attained the goal provided that they have earned 60% of the total points possible for this course.

[注意事項]

Please visit my website (<http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/genl/Lawson/>) for information related to this class.

Please visit our Internet website "English-Muscle" at <http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/engcom/> for fun English-learning activities.

You may contact me at any time at either of the two following email address: lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp, lawson40@gmail.com.

There will be no text for this course. Exams will be based on handouts and weekly presentations from the instructor.

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]

A good command of basic English syntax; a practical level of reading and listening comprehension, and some ability to converse in English.

[自己学習]

The total time necessary for students to acquire an understanding of the course is 45 hours, including classroom time and study time outside of the classroom.

教科書 : Material as distributed in class.

[学業成績の評価方法および評価基準]

Grades will be based on the following percentages: 50% Midterm Exam and 50% Final Exam.

[単位修得要件]

Students must obtain at least 60% of the total possible points in order to receive 1 credit.

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
実用英語	平成20年度	Mike Lawson	5	後期	学修単位 1	選

[授業のねらい]

The objective of this course is to help students acquire the ability to understand lectures given in English. This will be achieved by providing students with an introduction to the basic concepts of sociology using English.

[授業の内容]

The following content conforms to the learning and educational goals:

(A) <Perspective> [JABEE Standard 1(1)(a)], and (C) <English>

[JABEE Standard 1(1)f].

Second Semester

Week

- 1 Introduction to the course
- 2 Social Interaction
- 3 Social Interaction
- 4 Social Groups
- 5 Social Groups
- 6 Age and Sex

- 7 REVIEW
- 8 MIDTERM EXAM
- 9 Families and Religion
- 10 Families and Religion
- 11 Education and Work
- 12 Social Change
- 13 Social Change
- 14 Students' topic of interest
- 15 Students' topic of interest
- 16 REVIEW

[この授業で習得する「知識・能力」]

1. Students will acquire the ability to understand lectures given in English while learning basic sociological concepts.

2. The concepts covered will include social interaction, social groups, age and sex, families and religion, education and work, and social change.

[この授業の達成目標]

The objective of this course is to provide students with the ability to understand lectures given in English.

[達成目標の評価方法と基準]

Students' ability to understand lectures given in English will be evaluated through the use of two exams (one midterm exam and one final exam) concerning basic sociological concepts. Students will have attained the goal provided that they have earned 60% of the total points possible for this course.

[注意事項]

Please visit my website (<http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/genl/Lawson/>) for information related to this class.

Please visit our Internet website "English-Muscle" at <http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/engcom/> for fun English-learning activities.

You may contact me at any time at either of the two following email address: lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp, lawson40@gmail.com.

There will be no text for this course. Exams will be based on handouts and weekly presentations from the instructor.

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]

A good command of basic English syntax; a practical level of reading and listening comprehension, and some ability to converse in English.

[自己学習]

The total time necessary for students to acquire an understanding of the course is 45 hours, including classroom time and study time outside of the classroom.

教科書 : Material as distributed in class.

[学業成績の評価方法および評価基準]

Grades will be based on the following percentages: 50% Midterm Exam and 50% Final Exam.

[単位修得要件]

Students must obtain at least 60% of the total possible points in order to receive 1 credit.

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
欧米文化論	平成 20 年度	竹野富之	5	前期	学修単位 1	選

[授業のねらい]

グローバル化に適応・対応できるよう異文化理解の重要性を認識させ、違いを受け入れる姿勢を養う。そのために様々な分野から欧米文化の背景や歴史の流れを説明し日本とも比較しながら考察する。

[授業の内容]

全体の週において、学習・教育目標 (A) (視野) と、JABEE 基準 1 (1) (a) に該当する内容を講義する。

第 1 週 イントロダクション

第 2 週 文化とは何か(1) 西洋人にとっての異文化理解

第 3 週 文化とは何か(2) 自民族中心主義について

第 4 週 西洋哲学入門(1) ギリシャ哲学

第 5 週 西洋哲学入門(2) 啓蒙思想家

第 6 週 西洋哲学入門(3) 近代哲学

第 7 週 西洋哲学入門(4) 現代の西洋哲学

第 8 週 中間試験

第 9 週 キリスト教の歴史(1) キリスト教の成立

第 10 週 キリスト教の歴史(2) キリスト教の教義

第 11 週 キリスト教の歴史(3) 十字軍の遠征

第 12 週 キリスト教の歴史(4) 宗教改革と資本主義

第 13 週 キリスト教の歴史(5) キリスト教とイスラーム

第 14 週 国民国家とは何か(1) 印刷技術の発展と国民意識

第 15 週 国民国家とは何か(2) 「想像の共同体」

第 16 週 国民国家とは何か(3) 日本の近代国家体制

[この授業で習得する「知識・能力」]

1. 現在の欧米文化の元となる背景を理解している。

2. それぞれの文化のかたち・特色を知っている。

3. 文化研究の方法論を知っている。

4. 言語の重要性を認識し、社会人向けの英語を身につけている。

[この授業の達成目標]

言語の重要性を認識し、欧米諸国の背景や歴史を踏まえ、それぞれの文化の具体的な形を理解している。

[達成目標の評価方法と基準]

上記の[知識・能力] 1～4 を網羅した問題を各定期試験とレポートで出題し、目標の達成度を評価する。達成度評価における各[知識・能力]の重みの目安は 1, 2, 4 を 30%, 3 を 10% とする。合計点 60% の得点で、目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。

[注意事項] 授業中適宜に課題を与え、レポートを提出してもらう。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 特になし。

[自己学習]

授業で保証する学習時間と予習・復習(中間試験と定期試験のための学習も含む)及び課題・レポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が 45 時間に相当する学習内容である。

教科書：なし

参考書：適宜紹介

[学業成績の評価方法および評価基準]

前期中間、前期末の 2 回の試験の平均点を 70%, 課題(レポート) 30% として評価する。

[単位修得要件]

与えられたレポートを提出し、学業成績で 60 点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
欧米文化論	平成 20 年度	竹野富之	5	後期	学修単位 1	選

[授業のねらい]

グローバル化に適応・対応できるよう異文化理解の重要性を認識させ、違いを受け入れる姿勢を養う。そのために様々な分野から欧米文化の背景や歴史の流れを説明し日本とも比較しながら考察する。

[授業の内容]

全体の週において、学習・教育目標 (A) (視野) と、JABEE 基準 1 (1) (a) に該当する内容を講義する。

【 後期 】

第 1 週 西洋人のバリ文化理解 (1) バリ島文化の紹介
 第 2 週 西洋人のバリ文化理解 (2) 楽園バリのイメージ
 第 3 週 西洋人のバリ文化理解 (3) オランダによる植民地化
 第 4 週 西洋人のバリ文化理解 (4) 観光地産業の発展
 第 5 週 遊牧民文化とキリスト教 (1) 遊牧の技術
 第 6 週 遊牧民文化とキリスト教 (2) 去勢誘導羊の利用
 第 7 週 遊牧民文化とキリスト教 (3) キリスト教と遊牧
 第 8 週 中間試験

第 9 週 アメリカ合衆国論 (1) プラグマティズム
 第 1 0 週 アメリカ合衆国論 (2) 競争社会、民主主義
 第 1 1 週 9.11 以降のアメリカ合衆国 (1)
 第 1 2 週 9.11 以降のアメリカ合衆国 (2)
 第 1 3 週 「文明の衝突」を考える (1)
 第 1 4 週 「文明の衝突」を考える (2)
 第 1 5 週 今後の日本とアメリカ合衆国の関係について
 第 1 6 週 まとめ

[この授業で習得する「知識・能力」]

1. 現在の欧米文化の元となる背景を理解している。
 2. それぞれの文化のかたち・特色を知っている。

3. 文化研究の方法論を知っている。
 4. 言語の重要性を認識し、社会人向けの英語を身につけている。

[この授業の達成目標]

言語の重要性を認識し、欧米諸国の背景や歴史を踏まえ、それぞれの文化の具体的な形を理解している。

[達成目標の評価方法と基準]

上記の [知識・能力] 1 ~ 4 を網羅した問題を各定期試験とレポートで出題し、目標の達成度を評価する。達成度評価における各 [知識・能力] の重みの目安は 1, 2, 4 を 3 0 %, 3 を 1 0 % とする。合計点 6 0 % の得点で、目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。

[注意事項] 授業中適宜に課題を与え、レポートを提出してもらう。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 特になし。

[自己学習]

授業で保証する学習時間と予習・復習 (中間試験と定期試験のための学習も含む) 及び課題・レポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が 4 5 時間に相当する学習内容である。

教科書：なし

参考書：適宜紹介

[学業成績の評価方法および評価基準]

後期中間、学年末の 2 回の試験の平均点を 7 0 %, 課題 (レポート) 3 0 % として評価する。再試験は行わない。

[単位修得要件]

与えられたレポートを提出し、学業成績で 6 0 点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語	平成20年度	仲井真喜子 川西笑華	5	後期	学修単位1	選

[授業のねらい] 中国語 で学習した発音・文型を確実なものとし,さらに新しい文型,日常生活での身近な表現や語彙を身につける.

[授業の内容] 全ての週の内容は,学習・教育目標(A) <視野> および JABEE 基準 1(1)(a)の項目に相当する.

第1週 中国語 の復習 第7課 反復疑問文
 第2週 第7課 介詞(1) 「存在」を表す“有”
 第3週 第8課 助動詞“得” 介詞(2)
 第4週 第8課 「時間量」を表す語
 第5週 第9課 「過去の経験」を表す“過”
 第6週 第9課 “是～的”の文 介詞(3)
 第7週 第10課 「動詞の程度」を言う表現
 第8週 第10課 助動詞“能”“会” 動詞のかさね型

第9週 後期中間試験
 第10週 第11課 「動作の進行」を表す“在”
 第11週 第11課 選択疑問文 目的語を文頭に出す表現
 第12週 第12課 「比較」の表現
 第13週 第12課 「類似」の表現
 第14週 第13課 2つの目的語を取る動詞
 第15週 第13課 “的”の用法
 第16週 自己紹介 決まり文句

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1 時点と時間量の表現が理解でき,運用できる.
- 2 助動詞“能”“会”が理解でき,運用できる.
- 3 “過”“在”などのアスペクト表現が理解でき,運用できる.

- 4 「比較」「類似」の表現が理解でき,運用できる.
- 5 基本的な単語(漢字)を見て発音することができる.
- 6 簡単な会話の聞き取りができる.

[この授業の達成目標]

各文法事項を理解し運用でき,基本的な単語の発音,簡単な会話の聞き取りができる.

[達成目標の評価方法と評価基準]

[この授業で習得する「知識・能力」] 1～6の習得の割合を中間試験,期末試験,口答試験により評価する.各項目の重みは同じである.試験問題のレベルは,100点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する.

[注意事項] 教科書付属のCDを繰り返し聞く事.

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] ピンインを理解し,発音することができる.

[自己学習]

授業で保証する学習時間と,予習・復習(中間試験,定期試験)に必要な標準的な学習時間の総計が,45時間に相当する学習内容である.

教科書:中国語はじめの一步(白水社)及び配布プリント

参考書:授業時,随時紹介する.

[学業成績の評価方法および評価基準] 中間・期末の試験結果を80%,口答試験の結果を20%として,これらの平均値を最終評価とする.再試験は原則として行わない.

[単位修得要件] 与えられた課題,提出物を全て提出し,学業成績で60点以上を取得すること.

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語	平成20年度	仲井真喜子 川西笑華	5	前期	学修単位 1	選

[授業のねらい] 近年多くの企業が中国に進出し、英語に次ぐ外国語として、中国語の重要性も増してきている。正確な発音・基本的な文法を習得することにより、中国語による初歩的なコミュニケーションができるようにする。

[授業の内容] 全ての週の内容は、学習・教育目標(A) <視野> および JABEE 基準 1(1)(a)の項目に相当する。

第1週 中国及び中国語の概要 発音〔声調、単母音〕
 第2週 発音〔子音 有気音・無気音・そり舌音〕
 第3週 発音〔複合母音・n と ng の区別〕
 第4週 間違えやすい発音 数字 簡単なあいさつ
 第5週 第1課 人称代名詞 “是”の文
 第6週 第1課 疑問文 否定文
 第7週 第2課 指示代名詞(1) 疑問詞疑問文
 第8週 第2課 “的”の用法 副詞の位置

第9週 前期中間試験
 第10週 第3課 動詞の文 省略疑問
 第11週 第3課 「所有」を表す“有”
 第12週 第4課 形容詞の文 助数詞(1)
 第13週 第4課 指示代名詞(2)
 第14週 第5課 「完了」を表す“了”
 第15週 第5課 「所在」を表す“在”
 第16週 第6課 日付・時刻を表す語 動作の時点を言う表現

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1 基本的な単語のピンイン表記を見て発音することができる。
- 2 声調を聞き分けることができる。
- 3 単語の正確なピンイン表記ができる。
- 4 簡単なあいさつの会話ができる。

- 5 基本的な文型(“是”の文、形容詞述語文、動詞述語文)が理解できる。
- 6 疑問文(諾否)・否定文が理解できる。
- 7 「完了」を表す“了”が理解できる。

[この授業の達成目標]

中国語の発音の仕組みを理解し、正しく発音することができ、また、基本的な語順を理解し、簡単な文を作ることができる。

[達成目標の評価方法と評価基準]

[この授業で習得する「知識・能力」] 1～7の習得の度合を中間試験、期末試験、口答試験により評価する。各項目の重みは同じである。試験問題のレベルは、100点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。

[注意事項] 教科書付属のCDを繰り返し聞く事。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]

[自己学習]

授業で保証する学習時間と、予習・復習(中間試験、定期試験 口答試験)に必要な標準的な学習時間の総計が、45時間に相当する学習内容である。

教科書：中国語はじめの一步(白水社)及び配布プリント

参考書：授業時、随時紹介する。

[学業成績の評価方法および評価基準] 中間・期末の試験結果を80%、口答試験の結果を20%として、これらの平均値を最終評価とする。再試験は原則として行わない。

[単位修得要件] 与えられた課題、提出物を全て提出し、学業成績で60点以上を取得すること。